

学校経営推進費 事業計画書

標記について、下記のとおり提出します。

1. 事業計画の概要

実施課程名	全日制の課程
取り組む課題	生徒の学力の充実
評価指標	・学校教育自己診断における「授業満足度」及び「授業で発表する機会」の割合向上 ・授業アンケートにおける「授業に興味・関心をもつことができた」「授業を受けて知識や技能が身に付いた」の割合向上 ・外部学力調査における学習習慣の定着及び学力結果の向上
計画名	「輝け！川高生－生徒が学びの主役になれる授業を」

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成</p> <p>(1) 生徒の(a)基礎・基本となる学力の定着ならびに「学ぶ意欲」や、生徒一人ひとりが自らの考えを的確に伝え、相手の意見も傾聴できる(b)コミュニケーション力を育成する。</p> <p>イ 生徒の主体的な学習態度を育成するため現状を把握し、(b)「考える、まとめる、発表する」等の力を高める授業を実施する。</p> <p>3 生徒の自己効力感と人権意識を向上</p> <p>(1) ウ 学校行事(体育祭や文化祭等)や学年行事、ホームルーム活動など、(b)生徒が主体的に企画・立案・運営し、達成感や満足感の伴う取組みの充実</p> <p>4 学校全体の課題を解決するため、組織的活動の徹底と教職員力を向上</p> <p>(2) (c)「中国等帰国生徒及び外国人生徒入学選抜」の実施を見据え、入学生徒の受け入れ態勢や指導体制の確立</p> <p>(4) (c)配慮を要する生徒への共通理解を図り、カウンセリング機能を活かした適切な指導</p>		
事業目標	<p>「生徒が学びの主役になれる授業」づくりのために</p> <p>・本校生徒の特徴として、入学直後は「勉強する意欲」は低くはないものの、学習習慣と学力結果を維持・向上させることが課題になっている。</p> <p>・平成27年度、学力向上チームにおいて、本校生徒には「達成感」「甘えさせない」「参加型」学習が必要であるとの取りまとめを行い、全校で共有した。</p> <p>・本校では従来から電子黒板やプロジェクターを活用する授業を行ってきたものの、台数や場所が限られており、生徒自らが十分に活用するまでには至らなかった。</p> <p>・ICT機器の全普通教室等への整備と活用を通して、「生徒の学力定着と学ぶ意欲の向上」「コミュニケーション力の育成」「外国にルーツのある生徒、配慮を要する生徒へのサポート」などを行う。</p> <p>(a) 生徒の学力定着と学ぶ意欲の向上 生徒の知識定着、理解の深化及び学ぶ意欲の向上のため、教材の視覚化を行い、わかりやすくかつ内容を深めた授業を実施する。 また、生徒の様子を確認しながら的確に指示することで、学習意欲を高める。</p> <p>(b) コミュニケーション力の育成 生徒が主体的に学習するとともに、自分の考えをまとめ、発表する力を育成するため、授業や総合的な学習の時間等において、調べ学習やプレゼンテーション等を実施する。</p> <p>(c) 外国にルーツのある生徒、配慮を要する生徒へのサポート 教材の視覚化などの工夫により、外国にルーツがある生徒の学校生活や学習活動への理解を促進する。 障がいのある生徒等に対して、個々に応じてきめ細かい指導を行い、学校生活や学習活動への理解を促進する。</p>		
取組みの概要	導入・整備する 設備・物品	短焦点プロジェクター(無線LAN使用可)	
	取組内容	前年度	<p>・学力向上チーム(教頭・首席・教務部長・進路部長・各学年主任)による「学力向上10プロジェクト(仮称)」において、本校生徒の学習等における課題の整理と解決に向けた方針を取りまとめ、校内で共有(課題の例:学習習慣の確立・学習意欲の向上など)</p> <p>・習熟度別授業に向けた検討(平成28年度に数学で試行実施)</p> <p>・総合的な学習の時間において、生徒の発表する力を高めるため、進路学習の報告書として壁新聞を作成・掲示</p> <p>・特別教室・選択教室で電子黒板、プロジェクターを使った授業を一部の教科で実施</p>
		初年度	<p>【事前研究】 以下の取組みに向け、ICT活用の実践例及び活用したいことについての現実的な利用方法の研究と検討(～8月)</p> <p>(a) 移動式プロジェクターを用い、教材の視覚化などの工夫をした授業を実施</p> <p>(b) 授業や総合的な学習の時間における生徒のICT機器の活用の検討と試行</p> <p>(c) ユニバーサルデザインに基づいた授業について研修</p> <p>【取組み充実に向けた流れ】 職員研修(機器の使用、10月)及び研究授業(11月)→教科での教材開発と協議(12月～) →学校教育自己診断等に基づき分析・評価(1・2月)→次年度の活用方法について検討(1・2月)</p>
		2年目	<p>(a) 固定式プロジェクターを用い、教材の視覚化などの工夫をした授業の実施を拡大</p> <p>(b) 授業や総合的な学習の時間における生徒のICT機器の活用を実施</p> <p>(c) 生徒による下級生へのコース等のプレゼンテーションの実施を検討</p> <p>(c) ユニバーサルデザインに基づいた授業の実施</p> <p>【取組み充実に向けた流れ】 職員研修(機器の使用、5月)及び研究授業(6月)→教科での教材開発、蓄積及び協議(9月～) →学校教育自己診断等に基づき分析・評価(1・2月)→次年度の活用方法について検討(1・2月)</p>
	3年目	<p>(a) 固定式プロジェクターを用い、教材の視覚化などの工夫をした授業の実施を拡大</p> <p>(b) 授業や総合的な学習の時間における生徒のICT機器の活用の実施を拡大(公開授業や研究協議を実施)</p> <p>(c) 生徒による下級生へのコース等のプレゼンテーションを実施</p> <p>(c) ユニバーサルデザインに基づいた授業の実施を拡大</p> <p>【取組み充実に向けた流れ】 職員研修(機器の使用、5月)及び研究授業(6月)→教科での教材開発、蓄積及び協議(9月～) →学校教育自己診断等に基づき分析・評価(1・2月)→次年度の活用方法について検討(1・2月)</p>	
取組みの 主担・実施者	主担: 学力向上チーム及びICT機器を活用する授業の担当者等 実施者: 全教職員の7割程度の活用を予定		
成果と評価 検証方法	初年度	<p>(a) 学校教育自己診断における「授業満足度」67% (H27.63%) 授業アンケートにおける「授業に興味・関心をもつことができた」2.91 (H27.2.88) 「授業を受けて知識や技能が身に付いた」2.97 (H27.2.94)</p> <p>(b) 学校教育自己診断における「授業で発表する機会がある」46% (H27.42%)</p> <p>・外部学力調査(進路マップ)において 学力結果 1・2年9月結果を次年度4月に維持 気持ち・生活アンケート結果 1年9月「頑張って成績を伸ばしたい」35% (H27.32%) 「自宅学習している」42% (H27.39%)</p>	
	2年目	<p>(a) 学校教育自己診断における「授業満足度」71% 授業アンケートにおける「授業に興味・関心をもつことができた」2.94 「授業を受けて知識や技能が身に付いた」3.00</p> <p>(b) 学校教育自己診断における「授業で発表する機会がある」50%</p> <p>・外部学力調査(進路マップ)において 学力結果 3年次C2 50% 気持ち・生活アンケート結果 1年9月「頑張って成績を伸ばしたい」38% 「自宅学習している」45%</p>	
	3年目	<p>(a) 学校教育自己診断における「授業満足度」75% 授業アンケートにおける「授業に興味・関心をもつことができた」2.97 「授業を受けて知識や技能が身に付いた」3.03</p> <p>(b) 学校教育自己診断における「授業で発表する機会がある」55%</p> <p>・外部学力調査(進路マップ)において 学力結果 3年次C2 55% 気持ち・生活アンケート結果 1年9月「頑張って成績を伸ばしたい」41% 「自宅学習している」48%</p>	

3. 事業費

事業費総額	2,999,160	円
-------	-----------	---

積算内訳

科目(節)	番号	内訳	1年目	2年目	3年目	単価	数量	金額
1 報償費	1							
	2							
	3							
	小計							
2 旅費	1							
	2							
	3							
	小計							
3 消耗需用費	1							
	2							
	3							
	小計							
4 維持需用費	1							
	2							
	3							
	小計							
5 役務費	1							
	2							
	3							
	小計							
6 委託料	1							
	2							
	3							
	小計							
7 使用料 及び賃借料	1							
	2							
	3							
	小計							
8 備品購入費	1	短焦点プロジェクター(無線LAN使用可)一式					11	¥2,999,160
	2							
	3							
	小計							
9 工事請負費	1							
	2							
	3							
	小計							
10 負担金・補助 及び交付金	1							
	2							
	3							
	小計							
合計								¥2,999,160